

キャリアラダー レベルⅠ到達目標：指導や教育を受けながら安全に看護実践ができる														
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	職場へ適応する時期／看護師として自覚と責任を持つ時期／組織人として規律を身につける時期			実践力を強化し自信をつける時期				メンバーとしての役割を習得する時期						
目標	1.職場に慣れる 2.指導を受けながら日勤業務の流れがわかる 3.患者や先輩看護師とのコミュニケーションがとれる 4.報告・連絡・相談ができる 5.社会人・看護師としてのマナーを守ることができる	1.指導を受けながら日勤業務の優先順位を理解し、時間内に業務を終了できる 2.指導を受けながらタイムリーに報告・連絡・相談できる 3.指導を受けながら患者のバイタルサイン測定、日常生活援助ができる 4.部署における3つの代表疾患の病態・主要症状と治療の学習ができる	1.指導を受けながら業務を拡大し、時間内に業務を終了できる 2.指導を受けながらタイムリーに報告・連絡・相談できる 3.夜勤・準夜勤勤務の流れがわかる 4.部署における3つの代表疾患の看護について学習できる 5.指導を受けながら選出業務、休日日勤に入る事ができる 6.静脈注射レベルⅠ・Ⅱの認定をうける	1.支援を受けながら日勤担当看護師の業務ができる 2.支援を受けながら処置の介助ができる 3.指導を受けながら夜勤・準夜勤に入る事ができる 4.担当した患者の疾患・看護について自主的に学習できる	1.支援を受けながらチームメンバーとしての業務がわかる 2.支援を受けながら緊急入院患者を受け入れ、入院時の対応ができる 3.担当患者の標準看護計画が活用できる 4.支援を受けながら担当患者の状態を把握し、指導者に報告・相談ができる 5.基礎看護技術チェックリストに沿って、看護に必要な知識について自主的に学習できる									
行動	「 実地指導者と一緒に行動する 」 1週目：全体研修 ・病棟オリエンテーションを受ける ・病棟内の構造を知る 2週目：電子カルテ操作を手順に準じて行う ・実地指導者の担当患者のケアと一緒に行動 3・4週目：実地指導者が担当している患者1名を担当する(重症者を除く) ・基礎看護技術チェックリストの「4月」をチェックする ・目標管理シートを作成する ・学習計画書を作成する	「 実地指導者の指導のもと行動する 」 ・初めて経験する事は実地指導者と共に行う ・ケアや処置は準備から後始末までの一連の過程を実施する ・予定入院患者を実地指導者と共に担当する ・情報収集、電子カルテ入力を実施する ・患者1～2名を担当し、状態を報告できる ・休日日勤オリエンテーションを受ける	「 実地指導者の指導のもと業務が拡大できる 」 ・実地指導者の担当している患者のうち、4～6名を担当する(重症者を除く) ・予定入院患者を一人で担当する ・休日日勤に入る ・準夜勤・深夜勤オリエンテーションを受ける ・基礎看護技術チェックリストの「6月」をチェックする ・静脈注射レベルⅠ・Ⅱテストに合格する ・社会人基礎力(入職3か月)の評価を行う	「 チームの支援を受けながら業務の拡大ができる 」 ・準夜勤、深夜勤に入る ・日勤メンバー業務を行う ・予定手術、検査患者を担当する ・基礎看護技術チェックリストの「9月」をチェックする ・目標管理シート・キャリアラダー評価表・社会人基礎力Ⅰの中間評価後、行動計画を修正する	「 チームに指導・助言を受けながら1人で看護実践ができる 」 ・緊急入院患者を指導者と共に受け入れる ・担当患者の情報を把握し、チームカンファレンスに参加する ・基礎看護技術チェックリストの「12月」「2月」をチェックする ・目標管理シート・キャリアラダー評価表・社会人基礎力Ⅰの最終評価後、次年度の課題を明確にする									
面接	目標設定面接		夜勤勤務が可能であるかの評価面接				9月：中間面接		2月：育成面接					
看護技術	<ul style="list-style-type: none"> □スタンダードブリーチン □感染経路の理解 □衛生的な手洗い □防護用具の目的理解と着脱 □無菌操作(清潔・不潔)の理解 □医療廃棄物の分別の理解 □職業感染防止対策の目的理解と実践 □針刺し、切創、粘膜暴露発生時の報告 □ネーム/バンド装着説明 □患者確認 		<ul style="list-style-type: none"> □内服管理アセスメントツールの目的理解 □手順に沿った与薬 □気道確保の目的理解 □気道確保の方法と留意点、理解 		<ul style="list-style-type: none"> □清拭 □洗髪 □部分浴 □陰部ケア □おむつ交換 □寝衣交換 □整容(爪切り、髭剃り) □マキシマルバリアブリーションの理解 □清潔操作での処置準備 □洗浄、消毒、滅菌の目的理解と実践 □内服管理アセスメントツールの目的理解 □手順に沿った与薬(患者と処方箋の確認) 				<ul style="list-style-type: none"> □シャワー浴介助 □呼吸メカニズム、気管、気管支、肺の解剖生理の理解 □薬剤と注射薬の照合と準備 □皮下注射の薬理作用理解と実施 □導尿 □膀胱内留置カテーテルの挿入 □グリセリン洗腸 □JCSによる意識レベル評価 □心電図モニター・12誘導心電図の装着と致死性不整脈の判断 □毒薬、劇薬、麻薬の保管、管理、確認、返却方法の理解 □転倒転落アセスメントシートの評価と安全な療養環境の確認 		<ul style="list-style-type: none"> □輸液ポンプ、シリンジポンプの構造及び機能の理解 □輸液ポンプ、シリンジポンプの作動確認 □輸液ポンプ、シリンジポンプの指示通りの速度設定 □輸液ポンプ、シリンジポンプのチェックリスト記入 □転倒転落危険度Ⅱ・Ⅲ患者、家族へのファイルを用いた説明 		<ul style="list-style-type: none"> □経管栄養の準備と実施 □摘便 □不眠の原因アセスメント・入眠援助 □処置に適した包帯の選択と包帯法 □筋肉内、静脈内、点滴静脈内、中心静脈内注射の薬理作用及び目的の理解 □筋肉内注射の実施 □静脈内注射の実施 □点滴静脈内注射の実施 □中心静脈内注射の実施・滴下調整・CVC刺入部観察 □輸血の目的理解、安全な実施 □輸血の副作用の理解と患者観察及び記録 □輸血副作用出現時の対処方法の理解 □動脈血採血後の圧迫止血と検体取扱い □心電図異常の判断と報告 □気管内挿管の適応、準備、介助 □放射性医薬品投与患者の廃棄物管理 □放射線被曝症状、検査結果変化の理解 	
業務	<ul style="list-style-type: none"> □電子カルテからの情報収集 □入院チェックリスト項目の理解と処理 □データベース聴取と入力 □入院オリエンテーションの目的理解と実践 □病棟内オリエンテーションの目的理解と実践 □クリニカルパスの理解 	<ul style="list-style-type: none"> □入院患者の受け入れ □電子カルテ入力 □看護計画の立案 □看護必要度の理解・入力 □退院患者の対応 □電子カルテの処理 □グリーンファイルの整理 	<ul style="list-style-type: none"> □死亡退院患者の対応 □処置の準備・実践 □診断書の取扱い □解剖の目的説明 □管理者への連絡・報告 				<ul style="list-style-type: none"> □他部門との連携 □薬剤の受領・返品 □物品交換 □輸液ポンプ・シリンジポンプ・呼吸器の受領・返品 □中材請求・受領 □MSWとの連絡・相談 		<ul style="list-style-type: none"> □インシデント入力 					
新人研修	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者研修 ・基礎看護技術研修①② ・1か月フォローアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・静脈注射1・2 ・輸液ポンプ、シリンジポンプの取り扱い ・12誘導心電図 	<ul style="list-style-type: none"> ・3か月フォローアップ ・AEDセミナー 				<ul style="list-style-type: none"> ・多重課題 ・勤労者看護 ・6か月フォローアップ 		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護技術研修③ ・mini-ICLS 		<ul style="list-style-type: none"> ・看護過程(ケーススタディ) ・1年フォローアップ 			